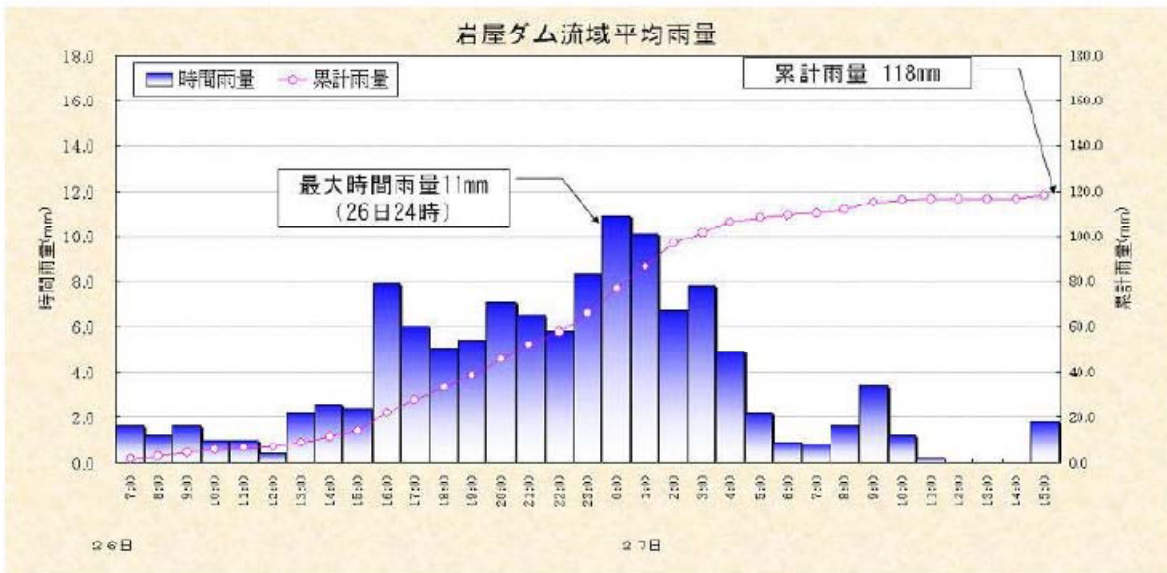
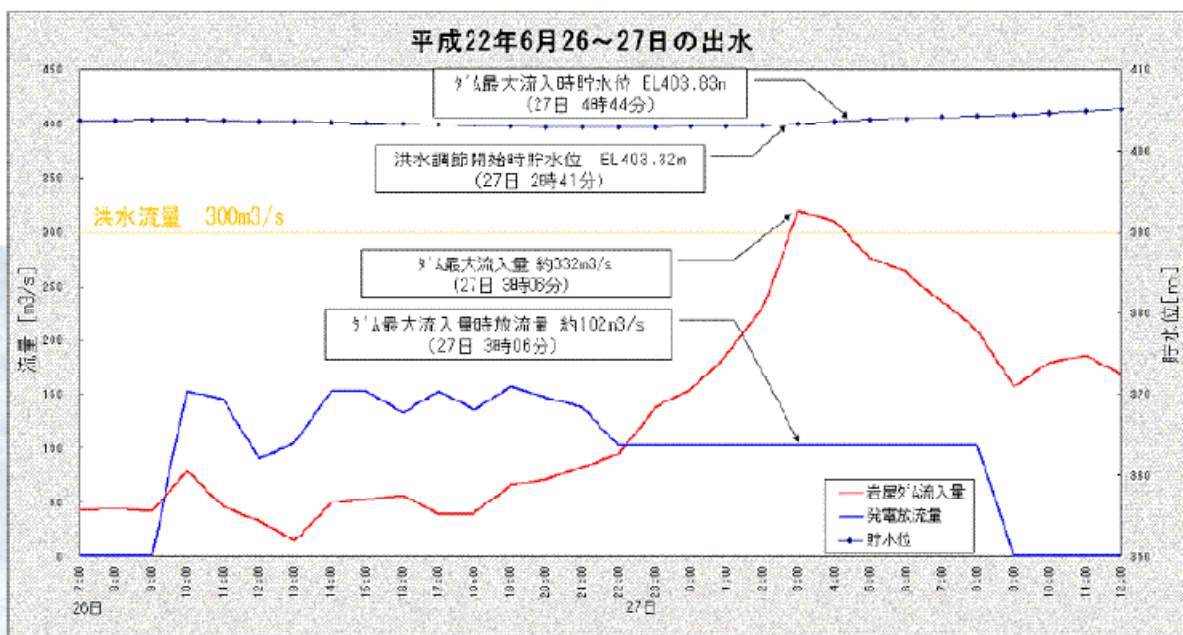


# 平成22年6月26日～6月27日の洪水調節

岩屋ダムの流域において平成22年6月26日から27日にかけて降った雨により、**累計雨量118mm**を観測しました。この降雨により6月1日から27日15:00までのダム地点累計雨量が**約440mm**となり、管理開始以降のダム地点6月雨量で**33位中第6位**の値となりました。（管理開始以降の6月累計雨量で最も多いのは、昭和53年（管理開始年）の624mmです。）



日本を縦断するようにゆっくりと移動した前線による降雨によって、岩屋ダム地点の**最大流入量は、約332m<sup>3</sup>/s**を記録しました。今回の出水により、**最大約230m<sup>3</sup>/s**の流入量を貯め込み、岩屋ダム水位は**約0.5m**上昇しました。



ダムが貯水池内に洪水を貯留することにより、東沓部地点での実績最高水位は約2.5mでした。岩屋ダム及び馬瀬川第二ダムがなかった場合の東沓部地点での水位は、約4.1mと推測されます。

### 岩屋ダムの洪水調節効果（東沓部地点）

